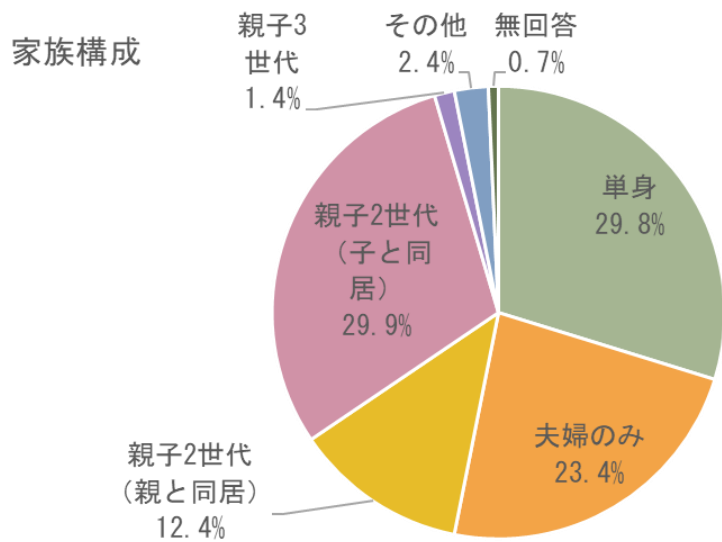
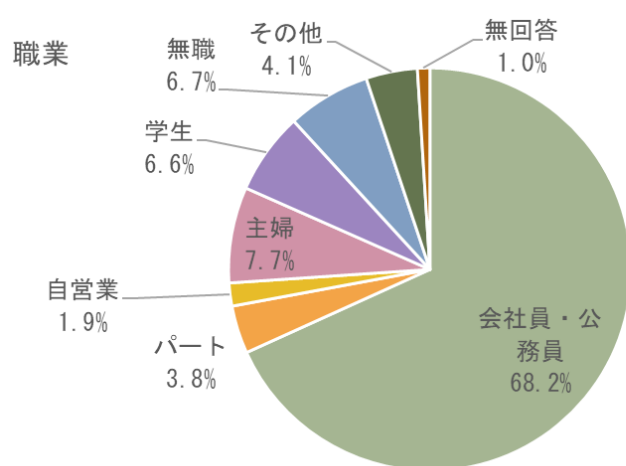
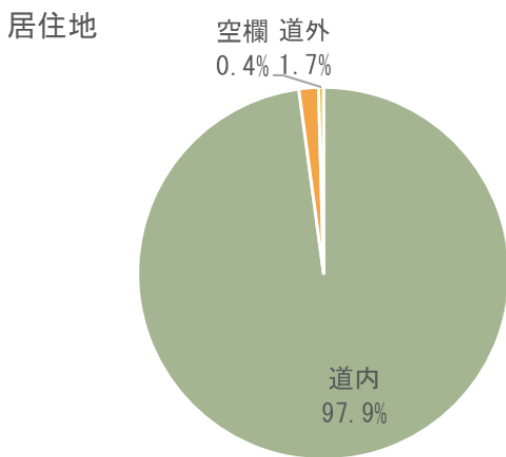
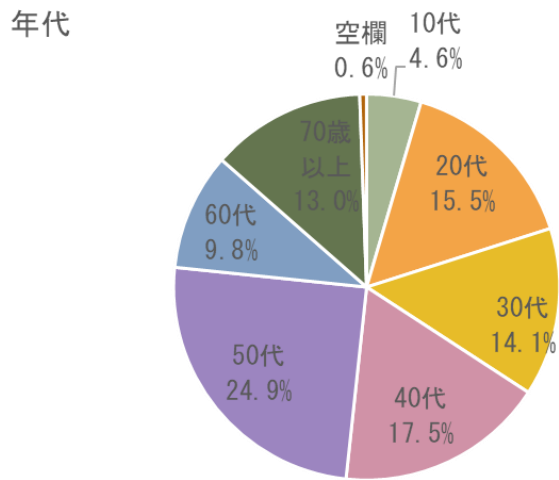
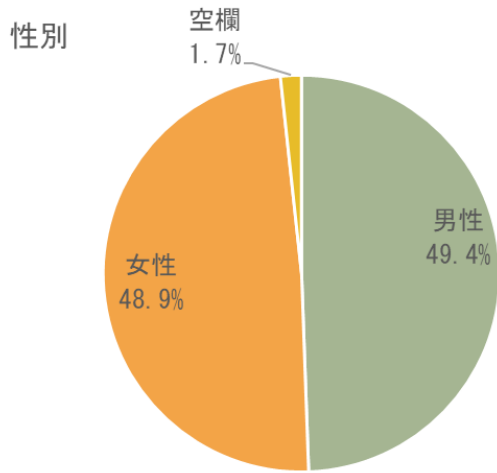


## 令和5年度「食育」、「食品ロス削減」に関するアンケート集計結果

- 1 回答者の属性
- 2 「食育」について
- 3 「食品ロスの削減」について

# 1 回答者の属性

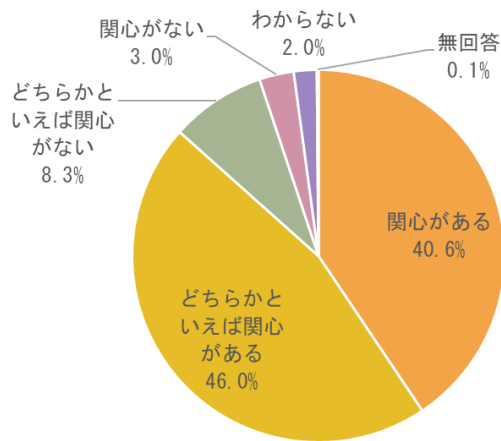
男女別はほぼ半々、年代では50代、40代、20代の順に多く占める。居住地はほとんどが道内在住。職業は約4分の3を会社員・公務員が占める。家族構成では単身と夫婦のみで半数以上となっている。



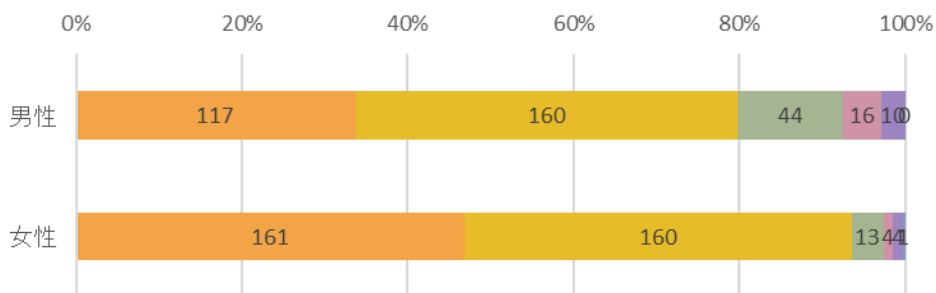
## 2 「食育」について

「食育」についての関心度は、「食育」の関心については、関心がある、どちらかといえば関心があると回答した方は86.6%となっている。男女別では男性と比較して女性が高い傾向にあり、年代別では10代と60代の層で関心が大きくなっている。

「食育」に関心

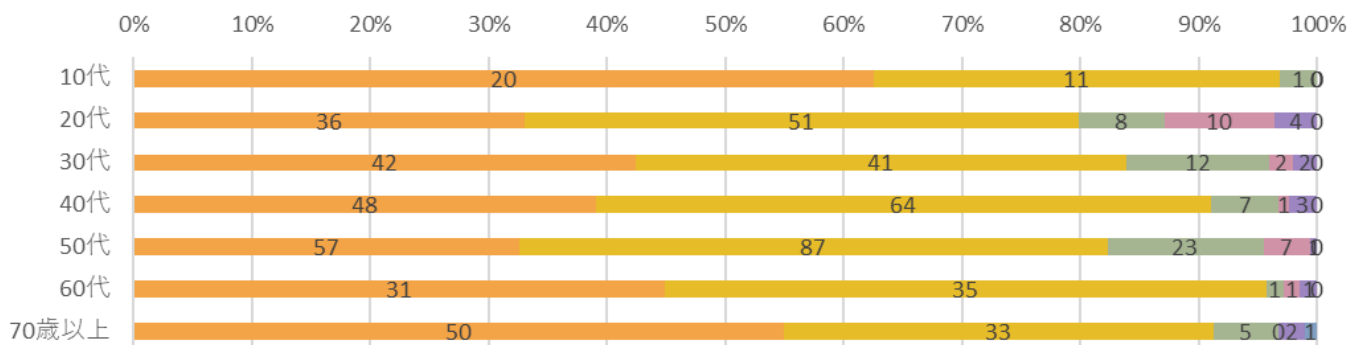


「食育」に関心（男女別）



- 食育に関心がある
- どちらかといえば関心がある
- どちらかといえば関心がない
- 関心がない
- わからない
- 無回答

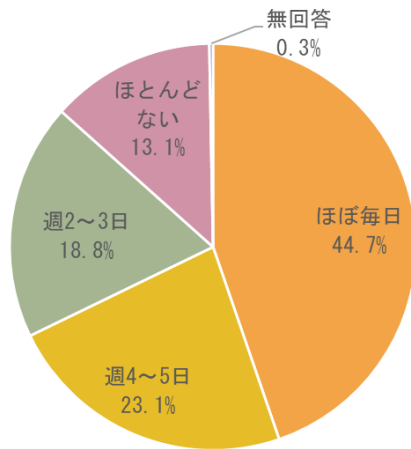
「食育」に関心（年代別）



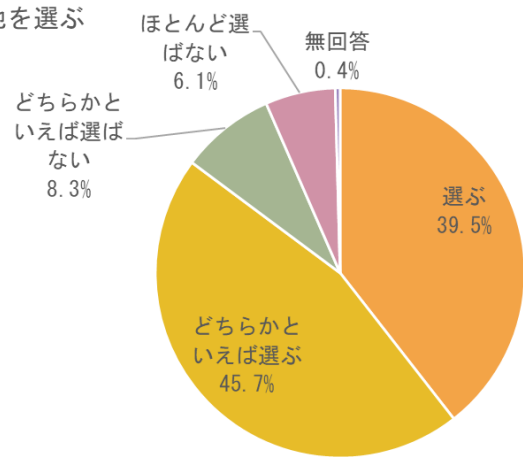
- 食育に関心がある
- どちらかといえば関心がある
- どちらかといえば関心がない
- 関心がない
- わからない
- 無回答

主食、主菜、副菜を基本に 3 つそろえて食べることが 1 日 2 回以上あるのがほぼ毎日と回答した方は 41.5%。85%以上の方が産地を意識して食品を選ぶと回答。

主食、主菜、副菜をそろえて食べる頻度

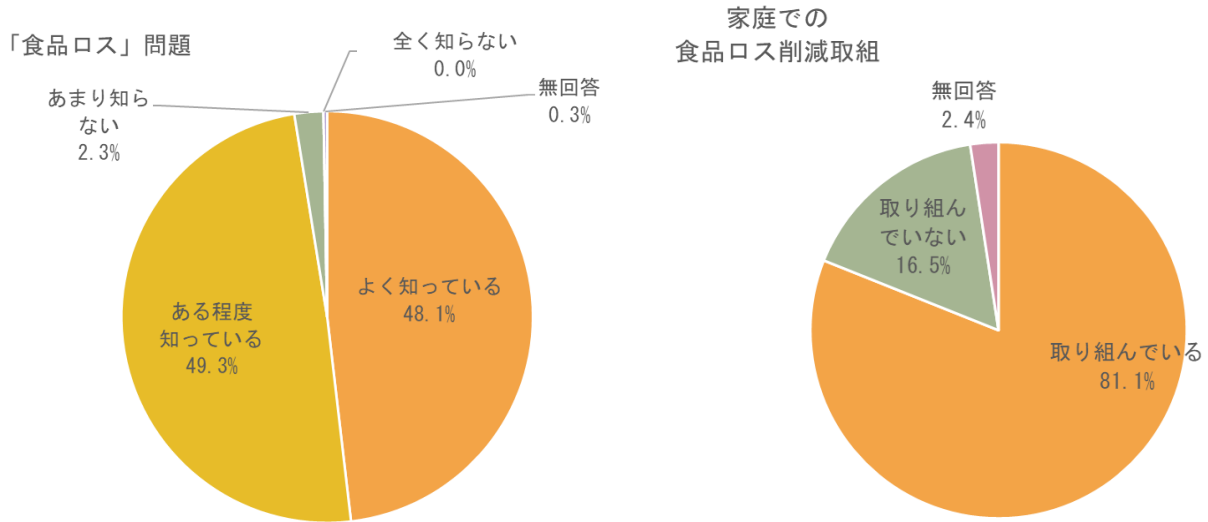


産地を選ぶ

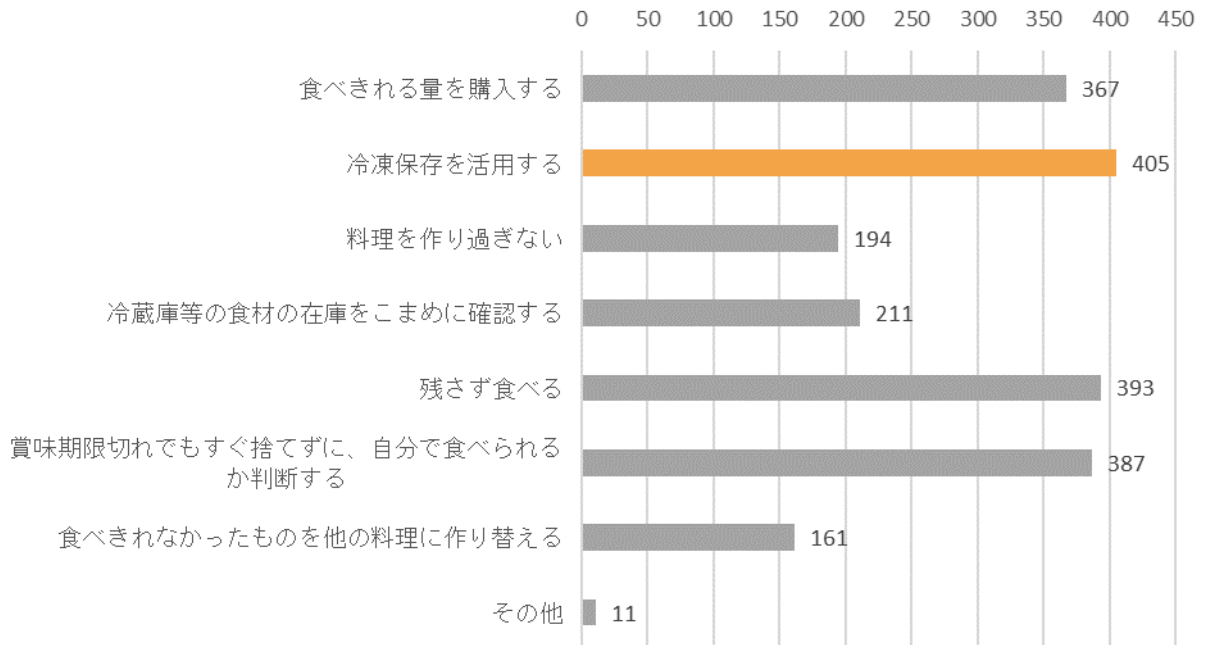


### 3 「食品ロスの削減」について

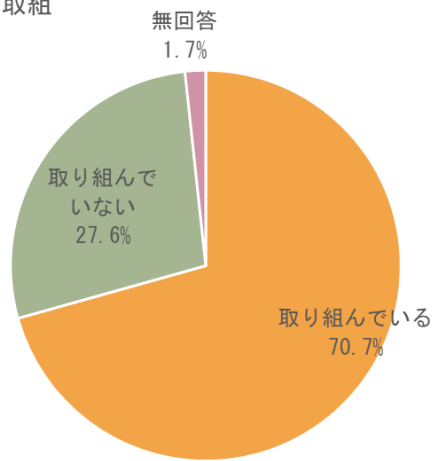
「食品ロス」という問題について、よく知っている、ある程度知っていると回答した方は97.4%となっている。約8割の方が、ご家庭で食品ロスの削減に取り組んでいる一方、外食での取組は7割にとどまっている。



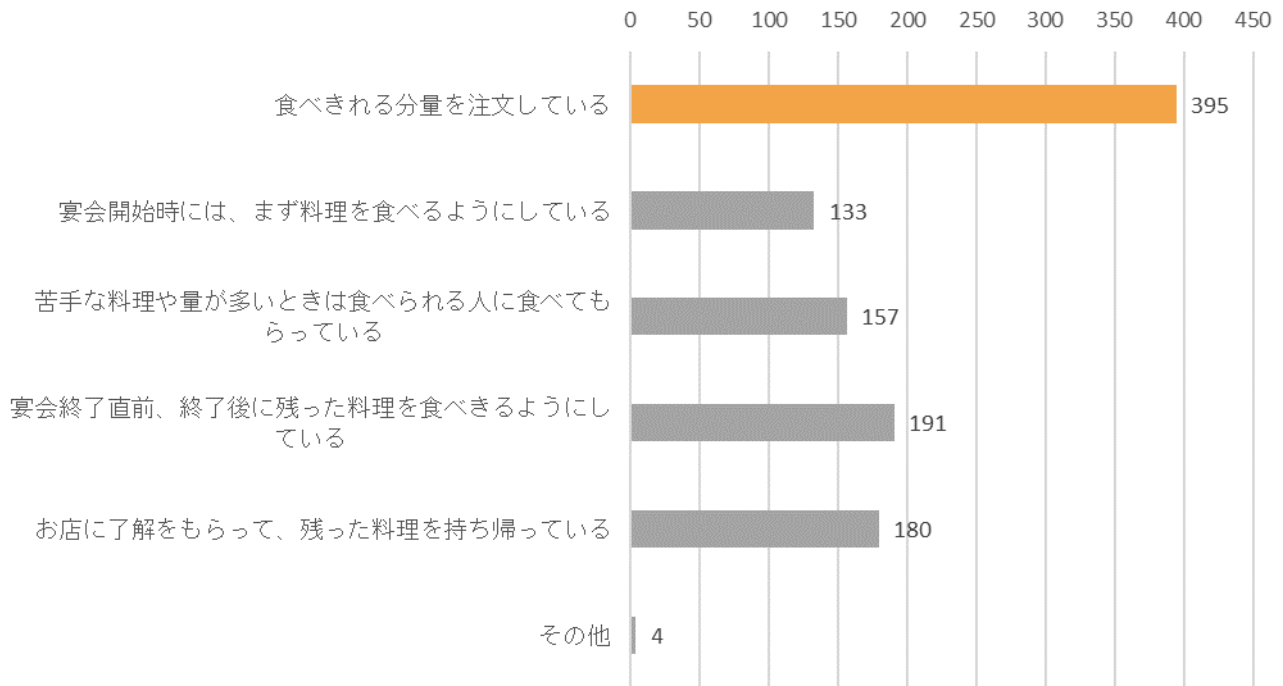
#### 家庭での取組



### 外食での取組



### 外食での取組



### 効果的取組

